

中学地理プリント（過去問類似）

北アメリカ州

名前

得点

/8

問1 世界の農産物輸出に関する統計において、アメリカ合衆国が約28パーセントのシェアを占めて世界最大となっている品目があります。この農産物の特徴や生産状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 島根公立入試 類似）

1. 中央平原からミシシッピ川流域にかけて大規模に栽培され、世界市場で高い輸出シェアを持っている。
2. ブラジルが世界最大の輸出シェアを持っており、アメリカ合衆国はそれに次ぐ第2位の輸出国である。
3. 主にカナダ国境に近い冷涼な地域にある小麦地帯において、機械化された農業によって生産されている。
4. 降水量の少ない西部の大平原において、センターピボットなどの灌漑施設を用いて集中的に生産されている。

問2 都市の土地利用において、郊外に見られる一般的な特徴を説明したものととして正しいものを、次の中から選びなさい。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 地価が比較的安いいため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい
2. 土地の価格が極めて高いため、高層ビルや地下街を建設して土地を高度に利用している
3. 人口密度が非常に高く、限られた土地を有効に使うために住宅が密集して建てられている
4. 利便性が最も高いため、官公庁や企業の中心的なオフィスが狭い範囲に集中している

問3 アメリカ合衆国の企業的牧畜において、柵の中に大量の肉牛を収容し、トウモロコシなどの飼料を与えて短期間で肥育させるための大規模な集中飼育場を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. フィードロット
2. 酪農
3. 放牧
4. プランテーション

問4 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がるサンベルトと呼ばれる地域で、近年、先端技術産業が急速に発展した背景として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。
2. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石や石炭を背景に、大規模な重化学工業の集積が進んだため。
3. 北東部の古い工業地帯よりも冬の寒さが厳しく、エネルギー需要に応えるためのインフラ開発が先行したため。
4. 広大な草原地帯を利用した企業的な小麦栽培と、それを加工する食品産業が中心となって成長したため。

問5 アメリカ合衆国で「適地適作」という農業方式が発達した背景と、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 茨城公立入試 類似）

1. 広大な国土の中で、地形や気候などの自然環境に合わせて農作物を分けることで、生産効率を高めている。
2. どの地域でも同じ農作物を均一に栽培することで、国内の食料自給率を安定させることを目的としている。
3. 自然環境による制限を克服するため、全土で同じ灌漑設備を導入し、土地の条件を無視した栽培を行っている。
4. 都市近郊でのみ農業を行うことで、輸送コストを抑える地産地消の考え方を最優先している。

問6 シリコンバレーにおいて、情報通信技術（ICT）産業が高度に集積している背景や理由として、適切なものはどれですか。

（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 大学などの研究機関との連携が容易で、高度な知識を持つ人材や新しい情報を得やすいため。
2. 内陸部で産出される鉄鉱石や石炭を、水上交通を利用して安く大量に運搬できるため。
3. メキシコ国境に近く、工場で働くための安価な労働力を大量に確保できるため。
4. 連邦政府が、この地域を重化学工業の拠点として大規模な国営工場を建設したため。

問7 北アメリカ3か国の貿易状況をまとめた統計において、メキシコの貿易の特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫公立入試 類似）

1. 主要な輸出入品はともに電気機械であり、最大の貿易相手国はアメリカ合衆国である。
2. 主要な輸出品は原油であり、輸出先・輸入元ともにカナダが最大の貿易相手国である。
3. 輸出入ともに中国が最大の貿易相手国であり、主要な輸入品は農産物である。
4. 主要な輸出品は自動車のみに限られており、アメリカ合衆国への輸出が9割を超えている。

問8 東京を中心として、東京からの距離と方位が正しく表されている地図において、日本から見て北東の方角に位置する広大な面積を持つ国があります。この国は北アメリカ大陸の北部に位置し、鉄鉱石や天然ガスなどの地下資源が豊富ですが、北部の多くは寒冷な気候のため居住に適した地域が限られています。この国の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 愛知公立入試 類似）

1. カナダ
2. エジプト
3. 南アフリカ
4. ニュージーランド

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中央平原からミシシッピ川流域にかけて大規模に栽培され、世界市場で高い輸出シェアを持っている。	アメリカ合衆国はトウモロコシの生産量・輸出量ともに世界トップクラスであり、世界の輸出シェアの約4分の1以上を占めることがあります。主な産地はミシシッピ川流域を含む中央平原で、適度な湿潤気候を活かした大規模農業が行われています。ブラジルも主要な輸出国ですが、統計上で約28パーセントもの高いシェアを誇るのはアメリカ合衆国のトウモロコシの特徴です。また、小麦地帯（プレーリーやグレートプレーンズ）とは産地の中心が異なります。
問2	答え 1 地価が比較的安いいため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい	都市の構造において、中心部から離れるほど地価は下がる傾向にあります。そのため郊外では、中心では確保が難しい広い敷地を利用できるようになります。具体的には、大型ショッピングセンター、大規模な工場、ゆとりある敷地を持つ住宅地などが立地しやすくなるのが、郊外の土地利用の大きな特徴です。
問3	答え 1 フィードロット	アメリカ合衆国の中西部などで見られる、肉牛を効率よく成長させるための施設です。広大な土地で牛を自由に歩かせる放牧とは異なり、一箇所に集めて高カロリーな飼料を与えることで、出荷前の肉質を調整し、生産性を高める役割を担っています。
問4	答え 1 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。	1970年代以降、アメリカでは産業構造の変化が起こりました。北東部の古い工業地域（製造業地帯）から、税制上の優遇措置や低い労働コスト、そして生活しやすい温暖な環境を求めて、多くのIT企業や航空宇宙産業が南部のサンベルトへと拠点を移したことが発展の主な要因です。
問5	答え 1 広大な国土の中で、地形や気候などの自然環境に合わせて農作物を分けことで、生産効率を高めている。	アメリカ合衆国の農業は、大型機械や航空機を用いた大規模な経営が特徴です。これほど大規模な生産を維持するためには、その土地の降水量や気温に最も適した作物（例えば、冷涼な北部は酪農、乾燥気味な地域は小麦、温暖な南部は綿花など）を選択することが、収穫量を最大化し生産コストを下げるために不可欠でした。これが、広大な領土を持つ国ならではの合理的な農業の仕組みです。
問6	答え 1 大学などの研究機関との連携が容易で、高度な知識を持つ人材や新しい情報を得やすいため。	ICT産業のような知識集約型産業では、最新の技術革新や高度な専門知識を持つ人材が不可欠です。シリコンバレーはスタンフォード大学などの有力な大学が近隣にあり、産学連携を通じて新しい技術やベンチャー企業が次々と生まれる仕組みが整っていることが発展の大きな要因です。
問7	答え 1 主要な輸出入品はともに電気機械であり、最大の貿易相手国はアメリカ合衆国である。	メキシコの貿易は、地理的に隣接するアメリカ合衆国との結びつきが非常に強いことが最大の特徴です。2011年時点の統計でも、輸出先・輸入元の両方でアメリカ合衆国が第1位となっています。また、産業の発展に伴い、輸出入品目において電気機械が主要な項目を占めるようになっていきます。カナダの主要輸出品が原油である点や、アメリカ合衆国の最大の輸入相手国が中国である点など、近隣諸国のデータと混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 1 カナダ	カナダはロシアに次いで世界で2番目に広い国土面積を持ちますが、高緯度に位置するため北部の大部分は寒冷な気候（亜寒帯・ツンドラ気候）に属しており、人口の多くは比較的温暖なアメリカ合衆国との国境付近に集中しています。鉄鉱石、石油、天然ガス、ウランなどの鉱産資源が豊富で、それらを世界各国へ輸出する資源大国としての側面も持っています。